

ビジネス・レーバー・トレンド研究会

平成19年版労働経済の分析

石水喜夫・厚生労働省労働経済調査官

2007年9月4日報告

ビジネス・レーバー・トレンド研究会報告概要について

この小冊子は、独立行政法人 労働政策研究・研修機構のビジネス・レーバー・モニターに登録する企業・事業主団体および単組・産別労組に所属する労使関係の実務担当者を対象に実施している「ビジネス・レーバー・トレンド研究会」（略称：トレンド研究会）での報告を収録。速記録に基づいた報告概要や、参加者全員によるフリートーキングの概要、配布資料（レジュメ等）、付属資料（事務局作成）で構成する。

「トレンド研究会」は2004年7月より実施。開催趣旨は以下のとおり。

1. 趣旨と目的

近年の労使関係や雇用・労働情勢の変化に対して、企業や労働組合がどのような問題に直面し、どう対応しているかを把握することは、好事例などの情報を普及・共有するうえでも必須となっている。このため、ビジネス・レーバー・モニターに登録している企業・事業主団体、及び単組・産別労組に所属する労使関係の実務担当者を対象に、最近の労使関係・雇用問題の変容とそれに伴う労働法制の変化を踏まえたテーマを設定した「ビジネス・レーバー・トレンド研究会」（通称：トレンド研究会）を開催。当機構の研究成果や最新の研究動向をモニターにフィードバックすることで、同一の課題に直面する人事労務担当者間での情報交換を促進することを目的とする。ビジネス・レーバー・モニターはさまざまな業種にわたることから、異業種交流やネットワークづくりの場としても活用する。

2. 研究会の運営方法

使用者側、労働者側に適したテーマを設定し、当該テーマに精通した研究者・実務家が講師として報告（1時間程度）。報告内容を素材に、参加者からも課題を提示していただくことで自由討議を行う。

3. 参加対象：企業、事業主団体、単組、産別労組のモニター

4. 結果報告：研究会の成果は、基調報告を中心とした研究会の開催内容を報告概要に盛り込み、適宜、モニター等に情報提供する。

報告者プロフィール

石水 喜夫（いしみず・よしお）／厚生労働省労働経済調査官

1989年労働省（現厚生労働省）、労働省大臣官房政策調査部労働経済課、経済企画庁調整局産業経済課などを経て、2005年から労働経済調査官に。2006年3月まで一橋大学大学院社会学研究科非常勤講師、同年4月から大東文化大学経済学部非常勤講師を兼任

目 次

研究会報告概要について

報告者プロフィール

| | |
|---------------------------------------|----|
| ． 基調報告「平成19年版労働経済の分析」..... | 1 |
| 1. はじめに | 3 |
| 2. 平成19年版労働経済の分析のポイント | 4 |
| 3. 雇用・失業の動向 | 6 |
| 4. 賃金・労働時間の動向 | 7 |
| 5. 人材マネジメントと勤労者生活 | 8 |
| 6. 労働生産性上昇率と時短・賃金への配分 | 9 |
| 7. 就業形態別にみた賃金カーブ | 10 |
| 8. 一人当たりの雇用者報酬の要因分析 | 11 |
| 9. まとめ | 12 |
| ． 討議概要 | 15 |
| ． 報告レジュメ | 23 |
| ． ビジネス・レーバー・トレンド研究会報告書・既刊シリーズ一覧 | 40 |